

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

皮膚リンパ腫臨床統計調査研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 皮膚科 (研究責任者)藤田 英樹

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2023年 12月 31日

<研究の目的と意義>

皮膚リンパ腫は多数の疾患単位よりなり希少な疾患群であるだけでなく、民族間や人種間で疾患単位の構成は大きく異なっています。しかし、わが国においてはその基礎となるデータが不足しており、これまではわが国での発症症例数すら把握されていない状況でした。本調査研究は日本皮膚悪性腫瘍学会が主体となって全国レベルでの調査を実施するもので、これまで得られたデータから欧米などとの発症頻度に関する相違点が明らかになりつつあります。また、新規治療法の開発を考えるうえでも患者数や主要な年齢分布を知っておくことは重要です。毎年継続的に全国レベルで皮膚リンパ腫の患者数を収集し、データとして蓄積することで疫学データの解析が可能になります。これによってわが国での皮膚リンパ腫患者の疫学的な特徴を明らかにできます。

【研究の方法】

2018年以降、前年に皮膚リンパ腫で当院皮膚科を受診された患者さんの診療録から、①病型、②性別、③年齢、④病期、⑤選択した治療法、⑥治療効果、⑦転帰などを抜き出し、登録します。全国規模でデータを収集した後、統計学的な解析を行います。なお、患者さん個人が同定できる情報は登録しません。

<利用する試料・情報の項目>

患者さんの診療録から、①病型、②性別、③年齢、④病期、⑤選択した治療法、⑥治療効果、⑦転帰などを抜き出し、登録します。

<対象となる患者さん>

2017年1月1日から2022年12月31日までに、当院皮膚科を受診された皮膚リンパ腫の患者さんを対象にしています。

<研究の方法>

2018 年以降、前年に皮膚リンパ腫で当院皮膚科を受診された患者さんの診療録から、①病型、②性別、③年齢、④病期、⑤選択した治療法、⑥治療効果、⑦転帰などを抜き出し、登録します。全国規模でデータを収集した後、統計学的な解析を行います。なお、患者さん個人が同定できる情報は登録しません。

<外部への試料・情報の提供等>

集計したデータを、研究代表機関である鹿児島大学病院感覚器センター皮膚科に送ります。

<研究組織>

鹿児島大学病院 感覚器センター 皮膚科 藤井一恭

京都府立医科大学 皮膚科 加藤則人(日本皮膚悪性腫瘍学会・予後調査委員会委員長)

京都府立医科大学 皮膚科 浅井 純(同上・予後調査委員会委員)

浜松医科大学 皮膚科 島内隆寿(同上・予後調査委員会委員)

筑波大学 皮膚科 藤澤康弘(同上・予後調査委員会委員)

日本皮膚科学会認定教育研修施設(全国約 650)

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

皮膚科 氏名:藤田 英樹

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2502 (PHS)7464

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)

青字は記載上の注意事項ですので、記載後は削除して、余白をつめてください。